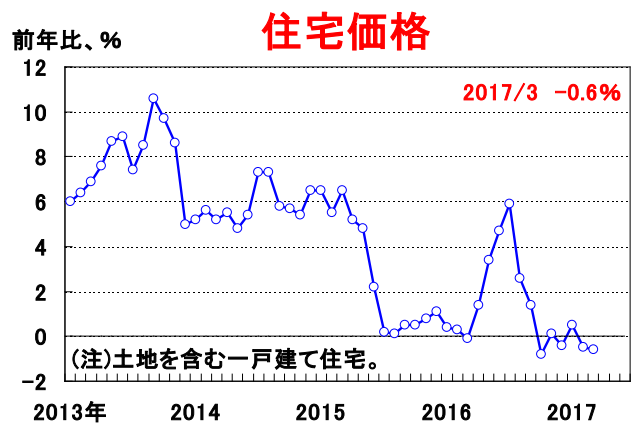
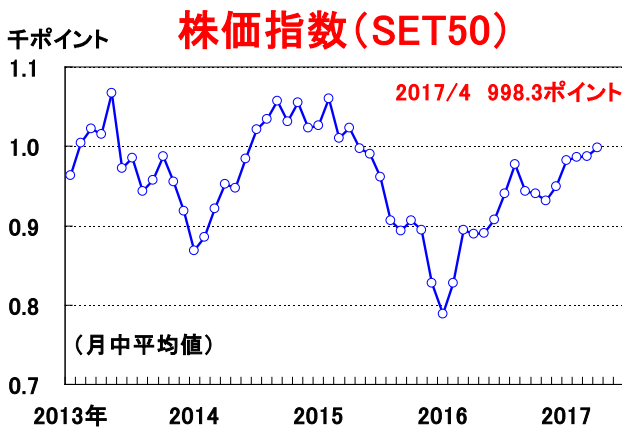
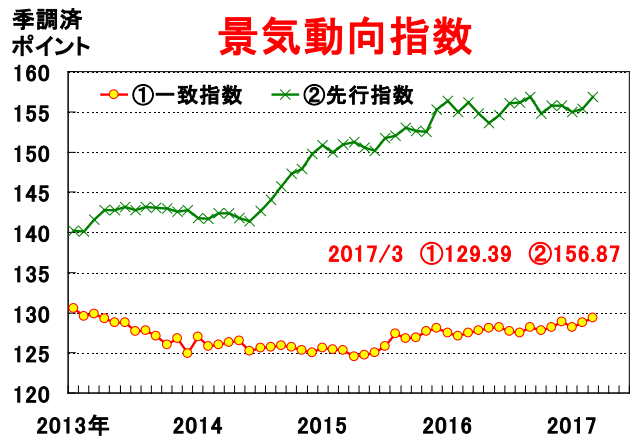
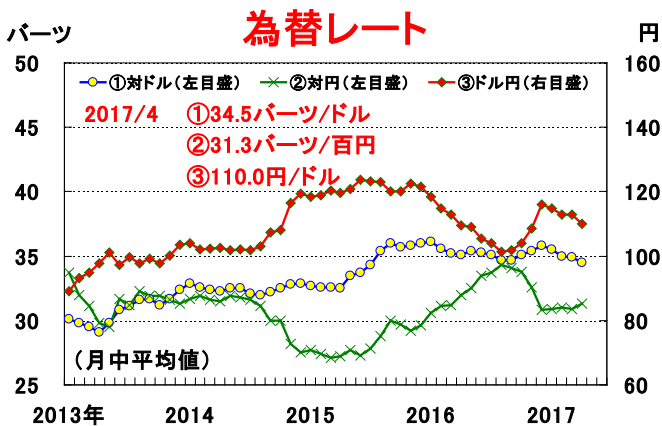
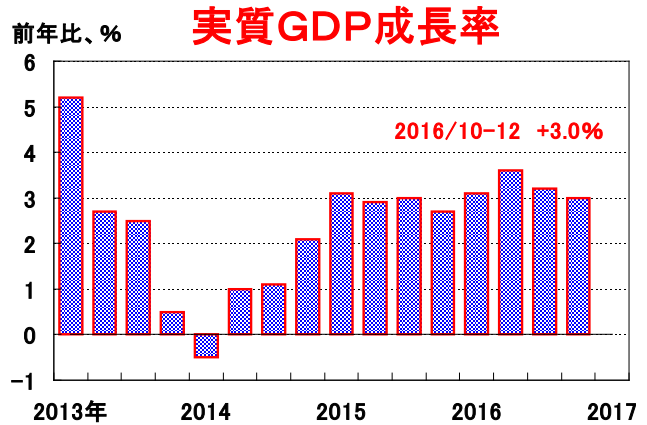
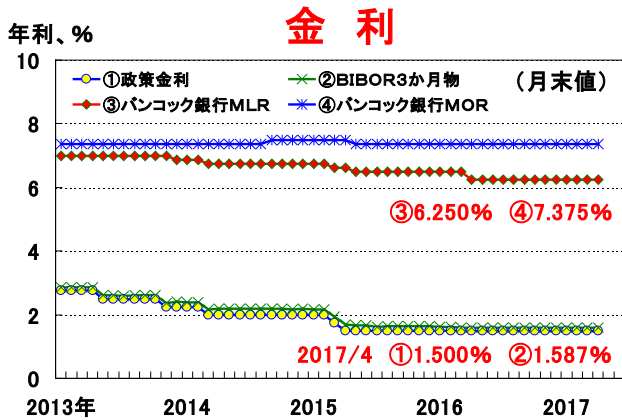


# グラフで見るタイ経済 2017年5月号(No. 95)

タイ景気は個人消費を中心に緩やかに持ち直している。3月の経済指標をみると、個人消費指数は前月比+0.1%と、自動車など耐久財消費の堅調な増加もあり、わずかながら2か月続けて上昇している。次に企業部門では、工業生産指数が前月比+0.7%と3か月ぶりに上昇し、また輸出も前年比+9.2%とプラスに転じた。輸出を主要仕向け地別にみると、中国向け(2月:前年比+31.1%→3月:同+47.6%)が増勢を強め、日本向け(2月:同-22.6%→3月:同+15.0%)も増加した。もっとも、民間投資指数は3か月連続で下落している。



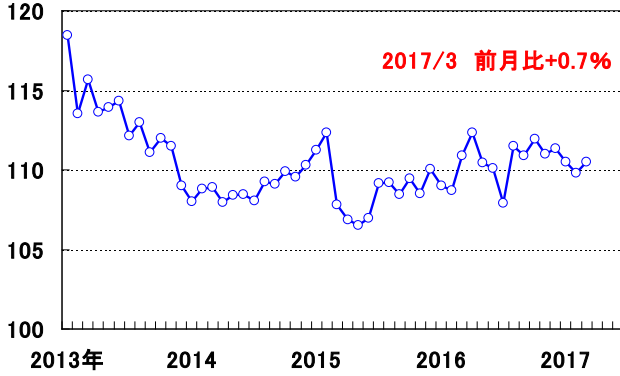
【今月のトピック:直接投資信頼感指数が世界20位に】 大手コンサルティング会社のA. T. カーニーが毎年公表する直接投資信頼感指数(FDI Confidence Index)によると、タイは2017年に世界19位と、2016年の21位から2ランク上昇した。本調査はグローバル企業の経営層を対象に、投資対象国の評価を調査、集計したものである。2016年に、タイへの直接投資は政治面の混乱の影響などにより落ち込んだ。しかしながら、本調査からは投資先としてのタイの評価が着実に向上していることがうかがえる。2017年はタイへの直接投資の回復が予想されている。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

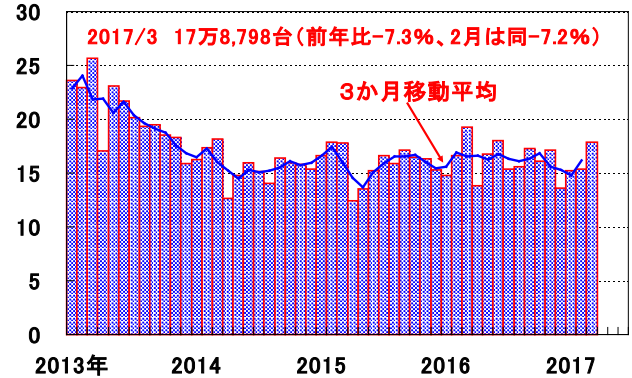
季調済  
2000年=100

### 工業生産指数



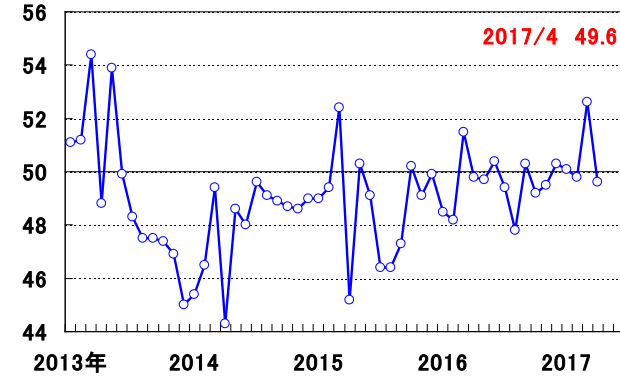
万台

### 自動車生産台数



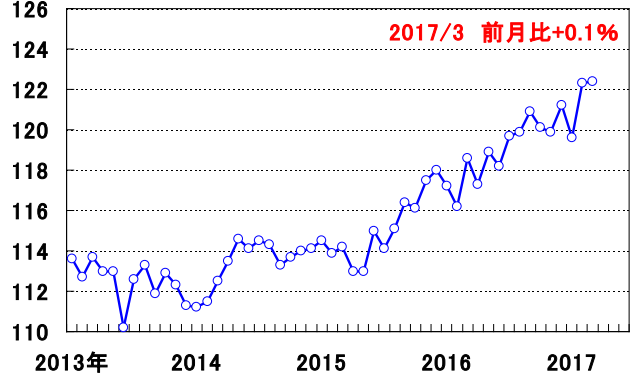
中立水準=50

### 企業景況指数(BSI)



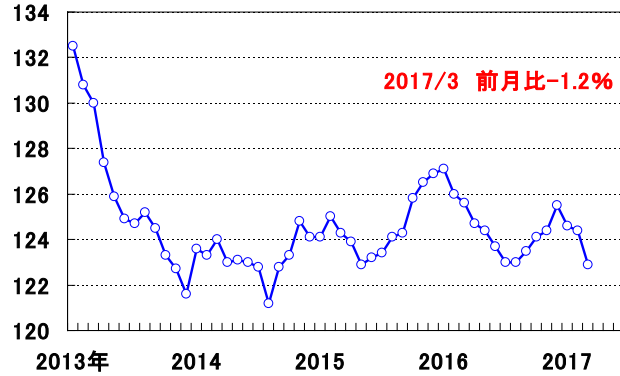
季調済  
2000年=100

### 個人消費指数



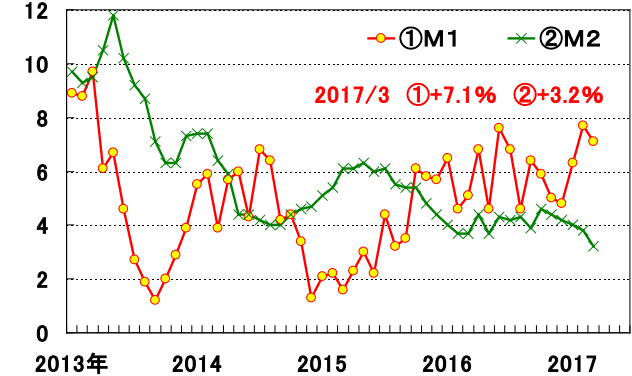
季調済  
2010年=100

### 民間投資指数



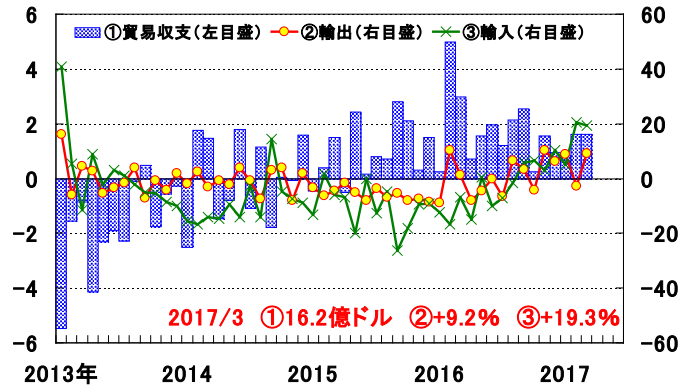
前年比、%

### マネーサプライ



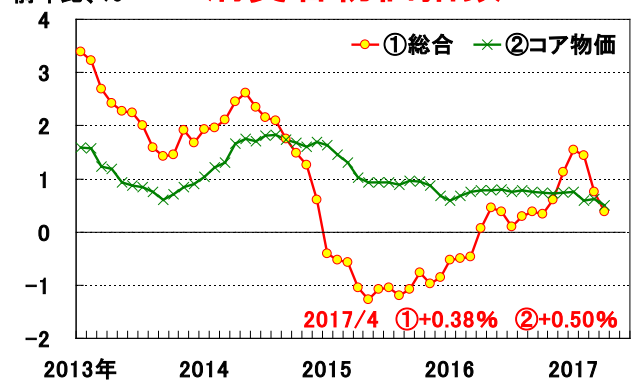
10億ドル

### 貿易収支



前年比、%

### 消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。